

経済振興委員会報告資料

ボートレース福岡 第3次経営計画の骨子案について

令和7年12月
経済観光文化局

1. 報告の趣旨

「ボートレース福岡 経営計画 令和3年度～令和7年度」が計画期間の満了を迎えることから、次期経営計画の策定に向け、有識者6名による「経営計画検討委員会」を開催し、内容の検討を進めているところであり、今回その骨子について報告するもの。

2. 骨子案の構成

第1章 趣旨

ボートレース福岡では、平成28年度に特別会計から地方公営企業会計に移行する際、ボートレース事業の経営状況を的確に把握し、持続可能な経営を行うため、第1次経営計画を策定し、以後5年ごとに計画を見直している。今回は第3次となる令和8年度から12年度までの5年間の計画を策定するもの。

第2章 現状と課題

1 売上及び来場者数

直近4年間（令和3～6年度）のボートレース福岡開催レースの年間平均売上額は762億円で、第1次計画期間（平成28～令和2年度）の平均495億円と比べ約1.5倍に増加している。売上の維持・向上に向けた取組みが引き続き求められる。

来場者数は、電話・インターネット投票の普及により長期的には減少傾向にあるものの、令和3年度以降は毎年37万人台を維持しており横ばい傾向にある。都心立地を生かした集客力の強化が、今後も重要な課題である。

2 ボートレースのイメージ

場内の明るい雰囲気づくりや選手の魅力発信など、イメージ向上に向けた取組みを進めてきた結果、来場者の満足度（「満足」または「どちらかといえば満足」）は83.2%と高い水準となっている（令和7年9月アンケート調査）。

一方で、ボートレース場に行ったことがない人の理由として、「ギャンブルのイメージが強く抵抗がある」（39.6%）や「興味がわかない・面白そうに感じない」（32.7%）などの声が多く（同調査）、ボートレースに対する抵抗感や関心の低さが来場の主な障壁となっている。

3 施設の維持管理

現計画期間中に、中央スタンドの空調設備の更新や照明設備のLED化を行うとともに、第1立体駐車場の大規模な改修に着手するなど、施設改善に取り組んできた。

一方で、昭和57年に竣工した競技棟をはじめ老朽化が進む施設・設備は依然として多く、持続的かつ安定的なレース運営や顧客満足度の向上のためには、引き続き適切な維持管理・更新が不可欠である。

4 顧客ニーズへの対応

アンケート調査を通じて顧客ニーズの把握に努めているものの、その結果に基づいた効果的な施策の実施が十分といえない。

持続的なボートレース事業の実施のためには、顧客満足度の一層の向上を図るとともに、経費節減にも継続的に取り組むことが必要である。

5 繰出金による社会貢献の認知度

直近4年間（令和3～6年度）の繰出金は平均40億円と安定的に拠出している一方で、ボートレース福岡の収益金がまちづくりに活用されていることを「知らない」と答えた人が約半数にのぼっており（令和7年9月アンケート調査）、収益金の使途や社会的意義が市民に十分伝わっていない。

第3章 経営理念

レジャー感覚で気軽に訪れることができる都市型ボートレース場として、来場そのものが楽しい体験となる空間を創出し、スポーツとしての迫力や感動を提供しながら、安定的な収益確保による福岡市財政への持続的な貢献を通じて、市民生活の質の向上に寄与します。

第4章 事業計画

■主要施策 1 来場者増加と売上の維持・向上に向けた取組み

幅広い世代が楽しめるイベントや初心者向け企画の充実、外国人観光客への対応強化などにより来場促進を図るとともに、売上効果の高い開催日程の編成や予想に役立つ情報発信の充実、効果的な広報の実施などを通じて、さらなる売上の拡大を目指す。

■主要施策 2 地域貢献とイメージ向上

ボートレースパーク（仮称）の活用や感謝イベントの実施を通じて地域社会に貢献するとともに、アートや地元プロスポーツチームとの連携を通じて魅力を発信し、ボートレースへの関心の喚起とイメージ向上を目指す。

■主要施策 3 施設の適切な維持管理及び運営

老朽化が進む競技棟の建替えをはじめ、各種施設・設備の計画的な整備と適切な維持管理に取り組むとともに、案内表示の工夫など来場者の目線に立った改善を進めることで、安定した競技環境や快適な観戦環境を整える。

■主要施策 4 経営改善に向けた取組み

顧客ニーズを踏まえた取組みを推進し、満足度の向上を図るとともに効率的な施設運営による維持管理費の抑制など、不断の経費節減に取り組むことにより、経営改善を推進する。

■主要施策 5 社会的責任を果たすための取組み

将来的に必要な施設整備等にかかる費用を十分考慮したうえで、一般会計への繰出しを継続するとともに、収益金が地域の発展や市民生活の向上に寄与していることを広く発信し公営競技への理解促進を図る。さらに、ギャンブル等依存症対策や災害時の施設活用、再生可能エネルギーの活用などを通じて、公営競技施行者としての社会的責任を果たす。

第5章 成果指標

成果指標	現状値	目標値
売上	712億円（令和6年度実績）	※精査中
繰出金	5年間で135億円（現経営計画）	
来場者数	37万人（令和6年度実績）	
来場者満足度	83.2%（令和7年9月調査）	
社会貢献認知度	51.8%（令和7年9月調査）	

3. 今後のスケジュール

1月 第3回経営計画検討委員会
2月（予定） 経営計画原案議会報告